

平成26年12月5日(金) 国土交通省 関東地方整備局 高崎河川国道事務所

記 者 発 表 沓 料

「道路をより管理しやすくする取組み」 第2弾 冬季の交通安全対策として凍結抑制舗装を実施しました。

道路の維持管理は、通行中の道路上であり、多種多様で規模が小さ く手間のかかる作業が多く、人件費や機材等の費用が割高になるとの 指摘もあります。また、道路の維持管理作業は、道路施設を利用する 方々が安全で使いやすい環境を維持し長く使うため、より効率的な管 理手法が求められています。

高崎河川国道事務所では、管理する国道(17号、18号、50号: 全約210km)において、これまでの道路の維持管理で蓄積された知見 や新技術を総動員して「道路をより管理しやすくする取組み」を推進 することにより、道路の維持管理上の課題の解決に努め、道路利用者 に対する一層のサービス向上を目指しています。

今回は、冬季の路面凍結を抑制し、道路交通の安全性を向上する取 組みとして、凍結抑制舗装を国道17号、18号で3箇所(延長延べ約1 km)において実施しました。(別紙参照)

なお、降雪時など冬季の道路交通の安全のためには、道路を利用さ れる方々において冬用タイヤ、タイヤチェーン装着といった雪道支度 や不要不急の外出の控え、外出にあたっての気象情報、道路情報の確 認をしていただくことが重要です。これらについて引き続き、一層の 広報、啓発を図ってまいります。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 テレビ記者会 刀水クラブ 高崎記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 高崎河川国道事務所

住所:群馬県高崎市栄町6-41 電話:027-345-6000(代)

副 所 長 伏見 利行 (ふしみ としゆき) 内線:204 計 画 課 長 中嶋 政幸 (なかじま まさゆき) 内線:261

高崎河川国道事務所ホームページ 高崎河川国道 検索 🗘



冬季の路面凍結を抑制し、道路交通の安全性を向上させる取組み

群馬県の山間部に位置する国道17号三国峠周辺(みなかみ町)や国道18号碓氷峠周辺(安中市)は積雪地や寒冷地であるため、冬季においては除雪や凍結防止剤の散布などにより、道路交通の安全性の向上を図っています。

高崎河川国道事務所では、路面凍結の遅延・抑制及び積雪の減少効果のある新技術を活用した凍結抑制舗装を導入し、除雪や凍結防止剤散布作業の軽減、作業効率向上を図るとともに、冬季の道路交通の安全性を向上させる取組みを進めています。

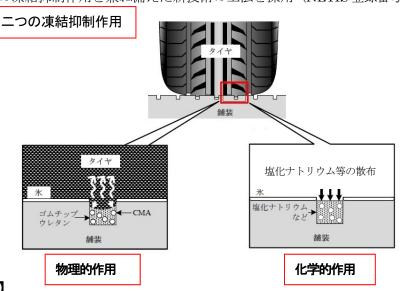
今年度、これまでに車両の立ち往生やスリップ等の発生区間である国道17号みなかみ町永井地区、国道18号安中市松井田町横川地区及び北野牧地区の3箇所(延長延べ約1km)で凍結抑制舗装を実施しました。



凍 結 抑 制 舗 装

【概要】

- ・凍結抑制舗装は、物理系凍結抑制舗装や化学系凍結抑制舗装の長所を活かした工法です
- **物理的作用**により、通行車両の荷重によって弾性力のある凍結抑制材にたわみが発生することで、 路面に覆われた氷板を破壊する効果があります
- ・化学的作用により、凍結防止剤が溶出することで、氷点降下作用が働いて路面凍結を遅延・抑制します。
- 今回は、二つの凍結抑制作用を兼ね備えた新技術の工法を採用 (NETIS 登録番号:KT-990566-V)



【凍結抑制効果】

路面に形成したグルービング溝にゴムチップウレタンと凍結防止剤 (CMA) 等からなる材料を充填し、路面の凍結を抑え、雪道の走行車両の安全性、除雪作業の効率化に効果があります。

- ※グルービング溝:アスファルト舗装の表面に縦方向に連続して設けた溝

※ゴムチップウレタン: 顆粒状のゴムチップをウレタン樹脂で結合させた混合物

※CMA:酢酸カルシウム・マグネシウムを使用した凍結防止剤

【特 徴】

- ・凍結防止剤の散布量や散布回数を減らすことができます
- ・路面が凍結する時間帯や凍結する期間が短くなります

【用 途】

- ・山間部の日陰や橋梁の表層
- ・路面状況の変化が著しい箇所(トンネル、スノーシェッド 等の出入り口)
- ・車両の減速、停止が要求される箇所(急カーブ、交差点付近、踏切手前、坂道)
- ・凍結防止剤の散布を低減させたい箇所
- ・除雪車の出動および凍結防止剤の供給、散布が困難な箇所(山間部)



国道253号新潟県上越市



橋面での施工例

県道42号岩手県久慈市



トンネル坑口付近および急カーブでの施工例 県道42号岩手県久慈市